

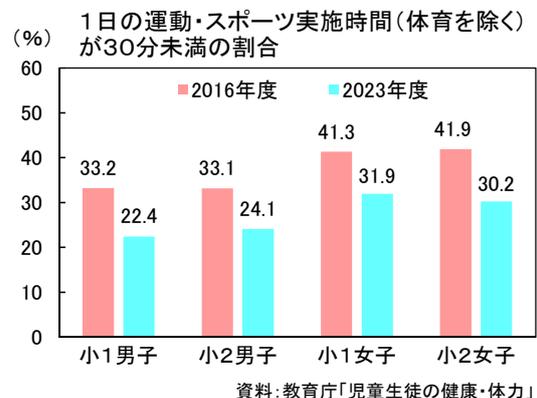
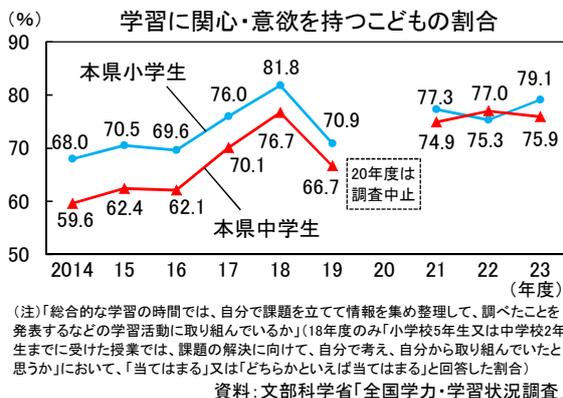
施策 1

「知・徳・体」の調和の取れた「生きる力」の育成

■2023(令和5)年度の主な取組・成果

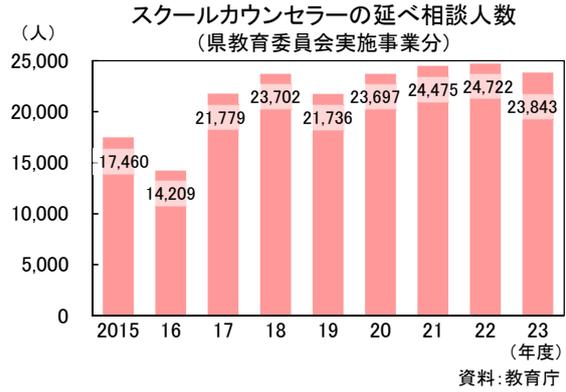
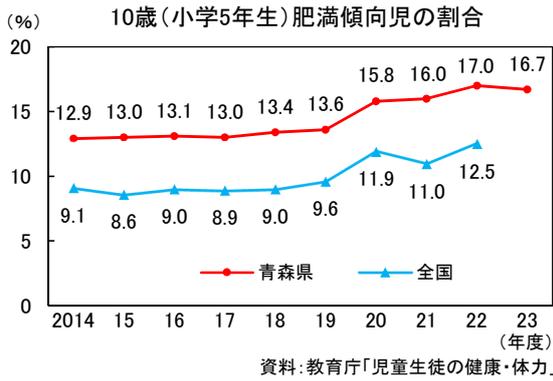
- 学習に意欲を持つこどもの増加を図るため、小・中学生の主体的に学ぶ力の育成に向けた手引きの配布を行うとともに、小学校教員の英語力・指導力向上を支援するため、英語専科教員等を配置し、研修や学校訪問を実施しました。また、県立高等学校における授業等での学校図書館の利用の一層の促進に資するため、「学校図書館サポーター」を県立高等学校10校に配置しました。
- 進学力パワーアッププログラムの実施等により高校生の学力及び教員の指導力アップに向けた各学校の取組を支援しました。
- いじめなどの問題の未然防止、早期対応を図るため、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、24時間電話相談員の配置、教員向けの研修、いじめ防止標語コンクールなど、いじめ防止の環境づくりや意識啓発に取り組みました。
- こどもの運動習慣の確立に向けた小学校中学年教員向けの研修、小学校低学年用運動プログラム及び運動遊びチャレンジカードの普及・宣伝などにより、小学校における運動習慣の定着に取り組みました。

■施策の現状を表す指標の動向等



学習に関心・意欲を持つこどもの割合は、小学生・中学生ともに2019年度比で増加しており、高水準を維持しています。

2023年度の小学校低学年における1日の運動・スポーツ実施時間が30分未満、すなわちあまり運動をしない児童の割合は、2016年度に比べ減少しています。



本県の肥満傾向児出現率は、これまで長い間増加傾向でしたが、2023年度は前年度と比較してやや減少しました。

スクールカウンセラーの延べ相談人数は高止まり傾向にあります。

■ 主な課題と今後の取組の方向性

主な課題	今後の取組の方向性
<p>基礎的・基本的な知識・技能については、身近な生活と学習内容を結び付けて考える力などを身に付けさせるとともに、思考力・判断力・表現力等については、学習内容を関連付け一般化する力などを身に付けさせる必要があります。</p> <p>また、小学校外国語活動及び小・中学校外国語科における「目標と指導と評価の一体化」による授業改善と児童生徒の英語力及び教員の指導力向上に一層取り組む必要があります。</p>	<p>主体的・対話的で深い学びの実現に向け、授業改善の手引きとなる資料や全国学力・学習状況調査の結果と今後の対策等を活用し、教員の指導力向上及び児童生徒の資質・能力の育成に取り組みます。</p> <p>また、児童生徒の英語力や教員の指導力向上に向け、本県で中核的な役割を担う教員を対象とした研修と支援訪問を計画的・継続的に取り組み、本県の小・中学校における外国語教育の更なる充実を図ります。</p>
<p>2023(令和5)年度のスクールカウンセラーへの延べ相談者数は、高止まりの傾向にあり、いじめや不登校の未然防止、早期発見に向けた取組が求められています。</p>	<p>相談体制の充実や教員・スクールカウンセラー等の資質向上に取り組むほか、いじめ防止標語コンクール等の実施により、安心できる学校環境づくりといじめ防止意識の啓発に取り組みます。</p>

1 「知・徳・体」の調和の取れた「生きる力」の育成

主な課題	今後の取組の方向性
<p>小学校低学年における1日の運動・スポーツ実施時間（体育を除く）が30分未満の割合は改善傾向にありますが、肥満傾向児出現率については、男女ともに全年齢層において全国平均を上回っており、望ましい運動習慣と食習慣の定着を図る必要があります。</p>	<p>肥満傾向児出現率の改善を図るため、体育・食育の楽しい授業づくりの実現に向けた教員対象の研修会を実施し、児童のよりよい生活習慣の確立に向け、家庭や地域と連携しながら更なる健康教育の推進を図ります。</p>

(参考) 2023(令和5)年度における県教育委員会の主な事業の取組状況

1 進学力を高める高校支援事業【学校教育課】 5,420千円

取組状況	<p>高校生の大学進学志望の達成に向け、「校内研修体制育成プログラム」では、研究指定校6校において各学校の校内研修体制及び授業の改善を通して教員の指導力向上を図るとともに、「進学力パワーアッププログラム」では、県立高等学校22校の学校独自の企画による取組の支援を行い、進学力向上を図った。</p> <p>また、令和7年度大学入学共通テストの新科目「情報Ⅰ」の導入を見据え、「指導力向上プログラム」で情報科教員対象の研修会を実施した。</p>
------	--

2 学習状況調査【学校教育課】 5,727千円

取組状況	<p>県内公立小・中学校の児童生徒の学習状況を把握し、学習指導上の課題を明らかにするとともに、学習指導の改善の方向性を示した資料を作成し、小・中学校等に配布した。各学校において、校内研修で調査結果を踏まえた自校の課題の共通理解を図り、指導例を参考に授業改善が行われるなど、多くの学校で活用が見られた。</p>
------	--

3 小・中学校外国語教育充実支援事業【学校教育課】 595千円

取組状況	<p>小・中学校における外国語教育の充実及び本県外国語担当教員等の英語力向上を図るため、小学校外国語活動・外国語担当教員・英語専科指導教員研究協議会を県内6地区で開催（参加教員200人）するとともに、中学校英語科担当教員対象のワークショップを実施（参加教員194人）し、英語力・指導力向上に係る研修を行った。</p> <p>また、小・中学校外国語教育充実支援訪問を27回実施し、授業参観・協議を行った。</p>
------	---

4 高等学校におけるICTを活用した資質・能力を育む授業づくり推進事業

【学校教育課】 3,677千円

取組状況	<p>授業の充実による生徒の資質・能力の育成を図るため、推進校8校においてワーキンググループ会議を年4回実施し、授業実践事例研究を行うとともに、22校において外部講師による校内研修等を実施した。</p> <p>また、ICT活用エキスパート教員育成研修を実施（受講者数55人）した。事業成果については、ICT活用教育研究協議会を開催（参加者数延べ108人）し、情報共有を図るとともに、資料コンテンツのクラウドでの共有、蓄積を行った。</p>
------	---

5 特別支援学校におけるICTを活用した自立と社会参加を目指す学びの推進事業

【学校教育課】 4,874千円

取組状況	<p>障がい種や個々の障がいの状態に応じた主体的・対話的で深い学びを推進するため、実践強化校10校において、ICTを活用した授業研究を行い、協議会を実施するとともに、各校が抱える課題の解決に向けて外部講師による校内研修を実施（参加校20校）した。また、ICTを活用した授業実践の充実に向けたICT活用推進協議会を開催（参加校21校）した。</p>
------	---

6 学校図書館活用推進事業【学校教育課】 263千円

取組状況	<p>学校図書館の活用を推進するためのシンポジウムを開催（参加者数67人）し、教職員、学校図書館関係職員、教育行政職員、公立図書館等職員等が、国の動向や本県の現状、公共図書館と学校図書館の連携等について共通理解を図った。</p>
------	--

7 学校の教育相談体制充実を支援する外部専門家活用事業【学校教育課】 147,372千円

取組状況	<p>児童生徒のいじめ、不登校やこどもの貧困問題等の諸課題への対応に係る学校の教育相談体制を支援するため、心理分野に関して高度な専門的知識・経験を有するスクールカウンセラーを県内全ての公立小・中学校、県立高等学校7校、県立特別支援学校1校に継続配置するとともに、要請等に応じた派遣を行った。</p> <p>また、教育・福祉分野に関して専門的知識・経験を有するスクールソーシャルワーカーを県内全ての小・中学校へ対応できるよう配置するとともに、県立高等学校6校に配置し、他校からの要請に応じた派遣を行うことで、学校の教育相談体制の充実を図った。</p>
------	--

1 「知・徳・体」の調和の取れた「生きる力」の育成

8 居場所づくり・絆づくり推進事業【学校教育課】 934千円

取組状況	不登校の未然防止等のため、安心して学べる環境づくりに向けた調査研究を指定校8校で実施するとともに、市町村教育委員会及び医療・心理・福祉等の関係機関や民間団体等による協議会を実施した。 また、不登校支援コーディネーターを県総合学校教育センターに1人配置し、県内各地にある教育支援センターに対する支援や助言等を行い、市町村における支援体制の整備を促進した。
------	---

9 24時間いじめ等電話相談事業【学校教育課】 9,737千円

取組状況	児童生徒のいじめ・不登校などの相談に適切に対応するため、電話相談員による夜間・休日の相談とハートケアアドバイザーによる日中の相談業務を行うとともに、相談電話周知カードを32,700枚作成し、県内の小学校1年生、中学校1年生、高校1年生に配布した。 ・相談件数1,165件
------	--

10 安心できる学校づくり推進事業【学校教育課】 1,492千円

取組状況	学校の組織的対応力の向上、教員の指導力向上により、各学校のいじめ防止等のための取組の充実を図るべく、県内全ての学校の教員を対象とする研修会を、校種や地区ごとに計7か所で実施した。また、いじめ問題対策連絡協議会を開催し、いじめ防止対策に係る関係機関の連携を強化した。
------	--

11 ソーシャルメディア等監視員配置事業【学校教育課】 3,116千円

取組状況	関係機関等と連携してSNSなどインターネット上のいじめに関係する事案を早期発見するため、ソーシャルメディア等監視員を学校教育課に1人配置した。
------	---

12 いじめ防止対策事業【学校教育課】 511千円

取組状況	県立学校全67校に対し、外部専門家や学校関係者による組織の設置を支援し、いじめ防止等の対策を実効的に行う環境づくりを図った。
------	--

13 学校図書館活動支援事業【教職員課】 6,018千円

取組状況	県立学校において、学校図書館の運営の改善及び機能向上により授業等で学校図書館を積極的に活用し、生徒の思考力・判断力・表現力や情報活用能力の育成を支援するため、学校図書館サポーターを県立高等学校10校に配置し、充実した学習環境づくりをサポートした。
------	---

14 いじめ防止キャンペーン推進事業【生涯学習課】 6,383千円

取組状況	小学生、中学生、高校生及び特別支援学校に在籍する児童生徒並びに一般県民からいじめ防止を訴える標語を募集（応募総数11,573点）した。また、その優秀作品をもとに制作したテレビCMを県内民放3社で放送（放送回数延べ78回）するとともにホームページで公開するなど、いじめ防止に関する県民の意識啓発を図った。
------	---

15 県民の未来の健康創造事業【スポーツ健康課】 1,448千円

取組状況	小学校中学年担任等を対象に、体育・食育についての研修会を、東青、西北、中南の3地区で実施（参加者数123人）し、教員の意識の向上を図るとともに、小学校低学年用運動プログラム及び運動遊びチャレンジカードの宣伝・普及を図った。
------	---

16 いきいき青森っ子健康づくり事業【スポーツ健康課】 939千円

取組状況	<p>県内の私立幼稚園2園、公立小・中学校各3校、県立高等学校2校、県立特別支援学校1校を実践研究校に指定し、健康課題解決のための発達段階に応じた具体的な指導内容、指導方法について研究を行うとともに、中間報告会を書面により開催した。</p> <p>性に関する講演会については、県立高等学校、県立特別支援学校（高等部）及び県立中学校の生徒を対象に51校で開催し、正しい知識の習得を図った。</p>
------	---

17 体力向上推進事業【スポーツ健康課】 599千円

取組状況	<p>生徒の発達段階を踏まえた体力向上の実践的な指導方法の充実と教員の資質向上を図るため、体力向上に係る諸問題等を協議する保健体育担当者研修会を開催（参加者数97人）した。</p> <p>また、運動習慣の確立と体力の向上に取り組むコンテストを実施した。</p>
------	--

18 青森から世界に向かってチャレンジするグローバル人財育成事業【学校教育課】  
18,813千円（施策2に掲載）

19 ドリカム人づくり推進事業【学校教育課】 7,192千円（施策2に掲載）

20 語学指導を行う外国青年招致事業【学校教育課】 8,840千円（施策2に掲載）

21 医師を志す高校生支援事業【学校教育課】 12,953千円（施策3に掲載）

22 学校における文化部活動推進事業【学校教育課】 2,128千円（施策6に掲載）

**1** 「知・徳・体」の調和の取れた「生きる力」の育成

- 23 命を守る！防災教育推進事業【スポーツ健康課】 2,139千円 （施策2に掲載）
- 24 学校における運動部活動推進事業【スポーツ健康課】 9,251千円 （施策6に掲載）
- 25 地域スポーツクラブ活動体制推進事業【スポーツ健康課】 4,530千円 （施策6に掲載）